

たつのまち 議会 だより

No.
78

日本のど真ん中
信州辰野町



Center of Japan

36° 00'00" N 138° 00' 00" E



小野押野 (いいまちたつの知らせ隊)

新型コロナ対策に大型補正予算可決

2年目の決意表明 ②

一般質問

⑧

6月定例会報告 ③

第4次議会活性化委員会

⑬

委員会レポート ⑥

町民の声

⑭



辰野町議会

2年目の決意表明

昨年の5月に議会は定数割れという状況から新体制がスタートし早一年が経ちました。新型コロナウイルスという未曾有の事態に見舞われている今こそ、私たち議員も決意を新たに、2年目の活動に臨んで参ります。
(上段：2年目に重点的に取り組む活動・施策) (下段：2年目の決意)



議長
岩田 清

議会対策と新型コロナ対策

・議会改革は活性化委員会で多様な課題を前進させる。新型コロナ対策をチェック・要望・提言して、経済的弱者と地元中小事業者を救済したい。「駅前町づくりプラン」を完成する。



副議長
小澤 睦美

教育環境の充実、道路網の整備

・二元代表制の確立に努め、町民と歩む議会、信頼される議会を目指します。町民の声なき声を真摯に受止め、その声を町政に反映させ、住んで良かったと思える町づくり。



議席1番
吉澤 光雄

新型コロナ対策、防災、地域交通

・町民の声、町民の目線から町政をチェックし、提案していく事が求められていると感じています。コロナ禍の中で、命と暮らしを守る町政前進の為、引続き頑張ります。叱咤激励を。



議席2番
向山 光

産業振興、環境保全、子育て支援

・「誰一人取り残さない」「持続可能な社会」というSDGsの理念のもと活動したい。板沢最終処分場問題、農林業・商工業の振興、災害対策、福祉・子育て支援充実に取り組む。



議席3番
瀬戸 純

医療・福祉・子育て支援の拡充

・「福祉・子育て・くらしの支援や制度の充実で、弱者にこそ政治の光を」の思いで「全ての人の命を一番に考えられるあたたかい町政」へ向け、みなさんの声を届けて行きます。



議席4番
舟橋 秀仁

新型コロナからの産業振興

・新型コロナの影響により経済的に困窮している町民並びに町内の中小事業者の声を町に届け、一日でも早い復興に寄与するとともに、将来を見据えた道路網計画や産業振興による町づくりにも尽力したい。



議席5番
松澤 千代子

安心な防災体制と子どもたちの安全

・防災については、補わなくてはならないことが山積状態です。命を守る防災活動に取り組んでいきたいと思えます。また、子どもたちの日常生活や交通の安全策を考えていきます。



議席6番
山寺 はる美

高齢者の外出支援と女性が町政に参画しやすい基盤づくり

・昨年4月に議会が新体制になって一年が経ちました。重要なポストをいただいて、日々忙しさに追われた一年でした。二年目は自分の掲げた目標をしっかりと実現させたい。



議席7番
樋口 博美

辰野町の森づくり施策と未来の小中学校づくり

・みなさんの声を、要望を実現に向けて町へ届けます。すべての子どもを取り残さない、未来の町づくり、誰もが健康で暮らしやすい町づくりを目指します。



議席8番
池田 睦雄

荒神山スポーツ公園の活性化

・スポーツと文化の町復活のため施設整備し、指導者育成で全国に活躍する逸材を育成する。また、現有資源と資産を活用した滞在型観光ビジネスの発掘で産業振興に取り組みたい。



議席9番
津谷 彰

子育て世代応援、高齢者福祉の拡充

・“誰ひとり取り残さない”SDGsの理念のもと福祉施策を中心に、小さな声に耳を傾けて町民一人ひとりが辰野町に住んでいて良かったと思える町づくりをカタチにしていきたいと思います。



議席10番
矢ヶ崎紀男

町の再生につなげたい

・都市部の人口集中リスクやライフスタイルの見直しで、地方暮らしへの関心が高まっている。都市部と地方の両方に生活拠点を持つ「二地域居住」で休暇を兼ね、地方でも仕事ができる環境を整備したい。

新型コロナウイルスに負けない

緊急応援大型補正予算可決

6月定例会は6月1日から17日まで開催されました。

【本会議】○議案審議 6月1日、17日

○一般質問 6月8日、9日

【常任委員会】○総務産業／福祉教育 6月10日、11日

新型コロナウイルス感染症関連補正
総額 24億 2,814万円
内、町費 1億 6,567万円
(国県支出金 20億 6,248万円、その他 2億円)

町民の皆さんへの支援事業

国の支援事業

特別定額給付金は給付対象者1人につき10万円を給付、子育て世帯（児童手当受給世帯）への臨時特別給付金は、対象児童1人につき1万円支給するものです。

- 特別定額給付金 19億 3,572万円
- 臨時特別給付金 2,255万円

町独自の支援事業

国の給付金のほかに、子育て世帯家計支援金として、対象児童（18歳までの子どもを養育する世帯へ給付）1人につき2万円の支援金を給付するものです。また、臨時休校中の児童生徒へ軽食を提供し家計への負担を軽減、帰省を自粛し県外でがんばっている町出身の学生には、応援支援のためお米を送りました。

～主な事業～

- 子育て世帯家計支援金 5,410万円
- 帰省自粛学生応援事業 「ど真ん中から想いを米て」 150万円
- ガンバル子どもたち軽食提供事業 133万円
- 妊婦さんマスク等配布事業 10万円

その他、貸付上限額 10万円の「くらしの資金貸付制度（小口資金）特例貸付事業」、就学援助を受けている児童・生徒の家庭にお米の配布、生活困窮で食事に困っている方へ食料品を提供する「緊急時食料提供事業」、タクシー配送料を一部負担する「宅配テイクアウト事業」など、様々な支援を行うための補正予算です。



ど真ん中から想いを米て

事業主の皆さんへの支援事業

コロナウイルスの影響で、売上げが激減した事業者に対して応援するための支援です。

「特別経営安定対策資金」では、新たな融資枠を設定し、小規模事業者経営改善資金とともに中小企業・小規模事業者を対象に利子補給等を行うものです。

～主な事業～

- 商工業振興資金預託金 2億円
- 商工業振興資金利子補給・保証料 2,000万円
- ガンバル小規模事業者応援金 5,400万円
(売上げが30～50%減額した事業者への補助)
- 飲食店デリバリー応援事業（商工会※） 20万円
- 宅配テイクアウト事業（商工会※） 60万円

※は商工会が行う事業への補助金です。

その他事業（感染防止対策ほか）

今後の感染防止対策として、医療体制の確保を始め、医療従事者へマスク等感染防除用品の配布、小中学生の感染防止・授業日数確保のためトイレ清掃の委託など、幅広く事業を実施するものです。また、指定管理施設の事業継続へ向けて支援を行います。

～主な事業～

- 小中学校トイレ清掃業務 66万円
- サーモカメラ・アルコール消毒液等購入 135万円
- 電子総合窓口開設負担金 91万円
- 新型コロナウイルス拡大防止協力金・支援金事業負担金 800万円
- 指定管理施設事業継続負担金 5,160万円

新型コロナウイルス感染症関連補正予算は、5月11日の臨時会と6月定例会で、全会一致で可決・承認しました。



今議会に付議された議案等は、委員会付託されたものも含め、全会一致で承認・可決しました。
(審査内容等は委員会報告も参照してください) ソーシャルディスタンスを確保し議会に臨む

●令和元年度補正予算

○一般会計補正予算(第10号)

総額 88億9,623万円 4億4,409万円減

問 財政調整基金の残高見込みは。

答 令和元年度は18億8,071万円、令和2年度は11億2,837万円の見込み。

問 保育園非常勤職員報酬減の理由は。

答 常勤職員を増やし非常勤職員を減らした。

○国民健康保険特別会計補正予算(第4号)

問 辰野病院繰出し金の内容は。

答 休日夜間の救急患者受け入れ体制の確保等に要した費用。

○介護保険特別会計補正予算(第4号)

問 介護予防・生活支援サービス事業費の負担金減額理由は。

答 あゆみ、訪問サービスAの1週間の利用回数が減少。

●条例改正と主な内容

○都市計画税条例の一部改正

・地方税法改正に伴うもの

○国民健康保険税条例の一部改正

・軽減拡大と限度額引き上げに伴うもの

○固定資産評価審査委員会条例の一部改正

・上位法令の改正に伴うもの

○消防団員等公務災害補償条例の一部改正

・国の損害補償の基準改正によるもの

○特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

○放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

●その他の議案

○町道74号線工事請負契約の変更

・法面崩落に伴う増工

○町道路線の新規認定1カ所 宮木下町

○(線越)辰野中学校第二体育館改修工事請負契約の変更

総額 1億2,415万円 1,470万円増

・雨漏り、床の追加改修工事

●令和2年度補正予算

○一般会計補正予算(第1号) 2億2,040万円増

○一般会計補正予算(第2号) 19億5,856万円増

○一般会計補正予算(第3号) 1億3,000万円増

問 災害対策に医療備蓄品(マスク、フェイスシールド、防護服等)が必要、予算計上の考えは。

答 災害時の町内開業医の医療体制は堅持する。医療機関のマスクは必要に応じ提供していく。また、将来に備えマスクや消毒液等は備蓄する。町税の減収や国の地方交付金等減額が予想されるため、将来を考えると財政調整基金の大幅な取り崩しは出来ない。歳出を抑え、基金運用を図る。

○一般会計補正予算(第4号) 1億708万円増

問 地域おこし企業人交流事業の内容と期待は。

答 三大都市圏在住の社員のノウハウを生かし、地方と企業が協力し地方へ人の流れをつくる。子育て世代の女性活躍支援、雇用の創出、住民キャリアアップ、ITテレワーク業務の取込みに期待。

問 森林管理事業の委託内容と今後の事業展開は。

答 森林環境譲与税を活用し、風倒木等の森林災害を未然に防ぐための処理作業を委託する。今後は森林所有者にアンケートを実施し、林地台帳の作成を行う。

問 農地中間管理推進事業費負担金、農業次世代人材投資事業交付金とは何か。

答 負担金は農地バンク事業の実績負担。認定された青年等就農計画者2組で5年間の県交付金。

○一般会計補正予算(第5号)

総額 111億2,971万円 5,368万円増

・指定管理施設事業継続負担金ほか

○国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

総額 20億1,052万円 50万円増

・新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う傷病手当金

●報告事項

○令和元年度一般会計繰越明許費繰越計算書

○令和元年度辰野町土地開発公社事業決算書及び令和2年度事業計画書の提出について

「私たちはこのように討論し、判断しました。」

令和2年 第4回(6月)定例会

【請願・陳情等について】		委員会 審査結果		本会議 採決	意見書の 提出
請願第7号	義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願書 (提出者)辰野町公立学校教職員組合 代表者 村澤陽介 紹介者 津谷 彰	福祉教育	採択	採択 (全員)	あり
請願第8号	国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める請願書 (提出者)辰野町公立学校教職員組合 代表者 村澤陽介 紹介者 津谷 彰	福祉教育	採択	採択 (全員)	あり
陳情第9号	県立高校の第2期再編をすすめる長野県教育委員会に対して、コ ロナ禍の中での拙速な決定は行わず、住民の声を聞いてすすめる よう求める陳情書 (提出者)高校再編を考える上伊那の会 代表 宮下与兵衛	福祉教育	不採択	採択 賛成6 反対5	あり
	不採択に反対(吉澤) 県教委の再編案では、伊那北、弥生、上農、駒高、赤穂高校5校の廃校と辰高商 業科の削減が避けられない。新設予定の総合学科校は定数割れしている。上伊那の中学卒業生は今後7 年間で高校1学年あたり10人程度の減少で、統合を急ぐ必要はない。文科省は少人数学級の優位性を 認めており、住民懇談会でも少人数学級を求める意見が多かった。来年3月に結論を出すのは拙速で、 住民にしっかり説明して十分意見を聞く必要から委員長報告に反対。 不採択に賛成(津谷) 県教委はコロナ禍での拙速な決定は考えていない。県高校再編推進室の樋口補佐 は「7月の県教委定例会では決定しない」。原山教育長は「丁寧に地域で協議し進めるため延期が必要と 判断した。充実した議論でしっかりした計画を作りたい。」と明言している。統合再編より少人数学級で 現高校の存続の希望が多い。」とあるが、多数意見である明確な根拠が不明である。委員長報告の通り不 採択が妥当。				
陳情第10号	国に対して「地方における公立・公的病院の国の基準に基づく一 方的な再編・統合は行わないことに関する意見書」の提出を求め る陳情書 (提出者)上伊那社会保障推進協議会 代表 小林伸陽	福祉教育	採択	採択 (全員)	あり
	地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書について (提出者)長野県町村議会議長会 会長 下平豊久	総務産業	採択	採択 (全員)	あり

【議員提出議案の審議について】		本会議採決
発議第5号	エッセンシャルワーカーへの手厚い支援を求める意見書の提出について	採択(全員)
発議第6号	県立高校の第2期再編にあたっては、コロナ禍の中での拙速な決定は行わず、住民の意見 を十分に聞いてすすめるよう求める意見書の提出について	採択 賛成6 反対5
	採択に反対(小澤) 長野県教育委員会は、平成30年3月に高校改革～夢に挑戦する学び～実施方針(案) を策定し、意見・提案を旧通学区毎に設置する「高校の将来像を考える地域協議会」に委ね、上伊那に 設置された地域協議会は、地域懇談会や中高生の意見交換会など様々な経験者、地域住民と意見交換し、 意見提案として県教育委員会に答申している。これを参考に県教委はそれぞれの地域で説明会を開催し ている。従って、意見書提出には反対。 採択に賛成 なし 問 意見書に辰高商業科も再編の対象とあるが根拠は。 答 県方針で総合技術高校は農業、工業、商業学科で提案され、上伊那郡の商業科は赤穂高と辰高であ り辰野町議会の意見書として辰高商業科がなくなるという意味で再編対象となると考え記載する。 問 県教委は決定していないので意見書の明記は不適では。 答 意見書提案者の総意である。	

【賛否が分かれた採決の結果は以下の通り(敬称略)】

- ・陳情第9号について (賛成) 吉澤、向山、瀬戸、舟橋、樋口、池田 (反対) 松澤、山寺、津谷、矢ヶ崎、小澤
- ・発議第6号について (賛成) 吉澤、向山、瀬戸、舟橋、樋口、池田 (反対) 松澤、山寺、津谷、矢ヶ崎、小澤

2年目の決意

6月定例会報告

委員会レポート

一般質問

第4次議会活性化委員会

町民の声

総務産業

常任委員会



委員会

条例審査

◆専決処分 税条例等の一部改正

地方税法の一部が改正されたことに伴い、住民税、資産税、たばこ税について、町税条例の一部を改正するもの。土地所有者が死亡などにより不明となった土地に関して、その土地の使用者を所有者と見なすための改正について、質疑がありました。

◆町職員の勤務時間及び休暇等に関する条例の一部改正

◆一般職の職員の給与等に関する条例の一部改正

令和2年4月1日から職員の育児短時間勤務を制度化したことに伴い、勤務時間等について定めるもの。

問 育児短時間勤務の実績等は。

答 これまで無い。フルタイムも含めて、時差出勤について検討中。

◆税条例の一部改正

新型コロナの影響に関し、税制上の支援策を講じる地方税法の一部改正に伴い、税条例の一部を改正するもの。

住民税関係では、公演等の中止による入場料の払い戻しを受けなかった場合、寄付金控除を適用する改正。住宅建設工事が遅れて入居が今年12月以降になっても住宅借入金特別税額控除を適用する改正。税全般では、徴収猶予に関して担保や延滞金を不要とする改正。他に、資産税関係、軽自動車税関係の改正です。

問 寄付金控除の手続き方法は。

答 対象となるイベント主催者が発行する証明書を添付し確定申告する。

◆都市計画税条例の一部改正

新型コロナの影響に関する税制上の支援策。主に、先端技術導入に関する特例措置拡大を、都市計画税にも適用するもの。

問 先端技術導入特例措置の内容は。

答 3%以上の生産性向上が求められ、減税対象が拡充されました。

(審議結果)

条例改正5件は、全員一致で可決すべきと決しました。

陳情・請願等審査

■地方議員の厚生年金制度への加入を求める意見書提出者は、長野県町村議長会。

審議の結果、「若い世代が議員になれるよう老後の生活不安を低減させるため、厚生年金に加入することを制度化することは重要」と、委員全員一致で採択すべきと決しました。

町商工会事務局と意見交換

4月28日、新型コロナの影響と対策について、辰野町商工会事務局と議会総務産業常任委員会の意見交換会を行いました。

商工会から会員事業所への影響について、飲食業への影響が大きく売上が80%位落ちていること、製造業は国内で原材料を調達している所が多く、今の所あまり影響が出ていないこと、建設業は部品が入ってこない影響があることなどが報告されました。

この間の商工会の取り組みとして、コロナ特別融資の斡旋や飲食テイクアウトスタンプラリー、給付金の申請手続き等の相談などに取り組んでいることが報告されました。

町の支援策として、国の持続化給付金の支給を受けられない売上げ減少20%~50%の事業者への給付金支給と、テイクアウト事業への支援などの要望が出されました。委員会から町へその旨を伝え、給付金支給等が一部実現しました。



レポート

福祉教育

常任委員会

条例審査

◆国民健康保険条例の一部改正

国民健康保険の被保険者には傷病手当金の支給はないが、新型コロナウイルス感染症に感染したとき、または発熱等の症状があり感染が疑われたときに、仕事をすることができなくなった給与と所得者に対して、傷病手当金を支給するもの。

問 代理申請や完治後の事後申請は可能か。

答 代理申請、事後申請どちらもできる。被保険者が死亡した場合は家族が受け取れる。

◆後期高齢者医療に関する条例の一部改正

後期高齢者医療には傷病手当金の支給はないが、新型コロナウイルス感染症に感染したとき、または発熱等の症状があり感染が疑われたとき、給与の支払いを受けている者に対して、傷病手当金の支給をするもの。

問 年金だけの収入の方も多い、支給対象者は。

答 年金以外に給与の支払いを受けている人が対象。

(審議結果)

条例改正2件は、全員一致で可決すべきと決しました。

委員会より意見書を提出しました

■エッセンシャルワーカーへの手厚い支援を求める意見書（一部抜粋）

新型コロナウイルス感染症の感染リスクに立ち向かい、社会生活を維持していくのに必要な機能を支えているエッセンシャルワーカー（生活必須職従事者）と呼ばれる人々がいます。医療従事者、ライフラインや物流等の機能を守る人々、保育や障がい者・高齢者福祉事業者などであるエッセンシャルワーカーの献身により、町民の暮らしは支えられています。

エッセンシャルワーカーへの更なる負担軽減の支援、経済的支援、従事者やその家族に対する人権擁護を求める意見書を提出します。

請願・陳情等審査

■請願第7号 義務教育費国庫負担制度の堅持を求める請願書

全員一致で採択とし、意見書を提出することに決しました。

■請願第8号 国の責任による35人学級推進と、教育予算の増額を求める請願書

全員一致で採択とし、意見書を提出することに決しました。

■陳情第9号 県立高校の第2期再編をすすめる長野県教育委員会に対して、コロナ禍の中での拙速な決定を行わず、住民の声を聞いてすすめるよう求める陳情書

反対 地域住民への説明や意見交換は十分している。
少人数学級の要望が本当に多いのか疑問

賛成 地域子ども達に意見を聞いていない、高校こそ少人数学級が必要な時と考える

賛成1、反対4で不採択と決しました。

■陳情第10号 国に対して「地方における公立・公的病院の国の基準に基づく一方的な再編・統合は行わないことに関する意見書」の提出を求める陳情書

全員一致で採択とし、意見書を提出することに決しました。





一般質問に登壇した10名の議員全員が新型コロナウイルスに関連した質問をいたしました。それぞれ違った視点から町に問いかけておりますので、ぜひ各議員の内容をご覧ください。

新型コロナウイルス感染症に関する質問

新型コロナウイルス感染症拡大防止支援について	津谷	P8
新型コロナウイルス感染症拡大防止にあたっての町長メッセージについて	池田	P9
新型コロナウイルス感染症対策の今後の課題について	向山	P9
新型コロナウイルス感染症対策、町の小中学校の対応について	山寺	P10
新型コロナウイルス感染症に対する町の対応について	樋口	P10
新型コロナウイルス感染症対策事業について	小澤	P11
新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言による辰野町への影響について	松澤	P11
就学援助制度における新型コロナウイルス感染症支援策について	瀬戸	P12
保護者が新型コロナウイルス感染症に感染した場合の子どもの居場所・住まいについて	瀬戸	P12
小中学校での3密を避けるための環境づくりと学びの保障等について	瀬戸	P12
新型コロナウイルス感染症対策について	吉澤	P12
新型コロナウイルス感染症における経済対策について	舟橋	P13

豊かな自然を守るまち

辰野町景観計画の中での歩道の樹木、花壇の管理について	山寺	P10
----------------------------	----	-----

健やかな笑顔あふれるまち

こころの健康について	津谷	P8
国民健康保険税、介護保険料の減免・免除等について	瀬戸	P11
辰野町霊園について	吉澤	P12

安心・安全なまち

通学路の安全について	津谷	P8
板沢地区への最終処分場建設計画について	向山	P9
地域における消防組織について	小澤	P11
災害時の避難対応の準備はできているのか	松澤	P11
豪雨災害対策について	吉澤	P12

仕事に活力と魅力があるまち

農業振興に向けてのビジョンについて	向山	P9
農業政策について	舟橋	P13

明日を担う人材と文化を育むまち

第五次総合計画の少子化問題について	山寺	P10
辰野中学校通学のスクールバスについて	舟橋	P13

行政改革の推進によるまちづくり

第六次総合計画の策定方針と進捗について	池田	P9
たつの未来館アラパの令和2年度運営について	池田	P9
第六次総合計画の策定について	向山	P9
農業集落排水施設の町への移管・統合について	小澤	P11



・全ての項目はホームページで閲覧できます。
・質問は「辰野町第五次総合計画後期基本計画」の「将来目標」の項目に沿って区分けしています。

津谷
彰
議員



町の
「こころの健康」
への取り組みは

町長
自殺対策計画を
策定した

問 主な支援の取り組み状況は。

課長 精神保健福祉士や臨床心理士が相談に当たる「こころの相談室」、作業療法士が指導に当たる「ゆめの会」や「つぼみの会」がある。「こころの健康づくり講演会」、「ゲートキーパー養成講座」などを開催し必要であれば医療機関につなげ、生きる支援を全職場挙げて講じる。

問 産後うつ対策と支援は。

課長 産後うつ予防や新生児への虐待予防を図るため、産後2週間、1カ月などの産後間もない産婦に対して健康診断を実施、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援を行う。また、保健師の訪問により、母子の確認、赤ちゃんとの関わりの確認、うつ・育児放棄・乳児虐待等を確認し、状況により精神科へつなぐこともある。

問 「こころの体温計」の導入は。

課長 他市町村の導入状況や利用状況を確認して導入を検討する。県の地域自殺対策強化事業の補助の対象になるか研究する。

通学路の安全対策は

問 町通学路交通安全プログラムの取り組みは。

課長 毎年PTAと区の要望を受け、推進会議で合同点検している。

問 グリーンベルトの設置状況と環境整備は。

課長 地元区とPTA主導で町道の8路線に設置。巡回で目視点検し、薄れた箇所は区に相談し対応を推進中である。

問 子どもや高齢者の見守りに防犯カメラ設置は。

課長 専用は無いが、役場など11カ所設置の防災情報ステーションによりライブカメラを公開し、一定の防犯になっている。



赤羽区内のグリーンベルト

その他

新型コロナウイルス感染拡大防止に関するエッセンシャルワーカーへの支援について

荒神山スポーツ
公園の強みを
どのように生かすか

町長

町民のスポーツ振興と
憩いの場として育てる



池田 睦雄 議員

問 荒神山スポーツ公園の強みと第六次総合計画への位置づけは。

町長 県内外から認知され宿泊合宿や町イベントへ訪問者も多く、町の自慢の場所である。町民のスポーツ振興と憩いの拠点と位置づける。

課長 様々な相乗効果が期待でき広域的に誇れる場所として、ど真ん中プロジェクトのテーマである。

問 第五次総合計画と第六次総合計画の連携は。

課長 目標達成見込みが計画全体の95%であり、第六次総合計画立案に向け町民アンケートの検証を行い、課題・改善点を抽出する。地域おこし協力隊も含め取り組む。

問 未来館アラパ運営委託の令和2年度予算審査委員会指摘事項の回答が、事後報告では。

課長 3月定例会の予算可決を受け4月10日に委員会へ報告。

問 運営委託は指定管理ありきではなく、多面的検討を求められていたのでは。

課長 委託内容を見直し、4月1日から運営委託ができるよう切れ目のない業務推進とした。

問 運営委託が昨年と同じ随意契約で3年連続同一業者の選定理由は。

課長 事業開始年の公募型プロポーザルに3年計画を提案した業者。

問 直営担当と委託業者で利用実態の分析検討は。

課長 利用時間の分析他、担当者間の打合せは出来ていない。今年度から実施する。

問 年間の事業収入は約1,200万円であるが費用は。

課長 委託費と町職員の人件費を含め約4,900万円。

副町長 未来館アラパは地方創生事業の拠点として試行3年目で運営は検証中。経営面だけでなく施設再生の検討組織を立ち上げ、今年度中に運営方針を定める。

新型コロナ対策へ町長メッセージを

町長 町民の感染者なしの協力で感謝し、明るい気持ちを忘れず前向きな新しい生活様式構築に、引き続きご理解とご協力をお願いしたい。



アラパ トレーニングジム

処分場、
調査の進捗は

町長

明らかになるのは
令和3年度



向山 光 議員

問 岡谷の副市長は建設への意欲を示しているが。

課長 井出の清水資源への影響が明らかになれば計画の白紙撤回につながる。万が一影響が明らかにならなくても、山の尾根近くの川の最上流部への最終処分場建設計画は問題であると考えます。



最終処分場予定地のボウリング調査

第六次総合計画策定にSDGsの理念共有を

問 「誰一人取り残さない」「持続可能な社会をつくる」というSDGsの理念の共有は。

課長 職員が自分ごととして、SDGsの理念を共有できるようにしたい。地域・団体・企業とも共有を図り、住民にもつながる展開をしたい。

新型コロナ対策、今後の対応は

問 役場の業務継続計画（BCP）見直しを。

課長 今後、非常時優先業務の再確認とともに、人員確保と感染症拡大防止として試行した時差出勤、交替勤務等を反映して、BCPも見直したい。

問 町民体育館、社会体育館を複合避難所に。

課長 2つの体育館は有効な場所であり、重点的な備蓄を検討したい。

問 家族が感染した場合の子どもの対応は。

教育長 児童相談所も悩んでいる。各機関連携での対策を考える必要がある。

農業振興に向けてのビジョンづくりを

問 ビジョン策定に、消費者、加工業者、飲食店、流通等多くの関係者の参画を。

課長 必要に応じて意見を聞いていく。

問 農業振興センターの役割強化を。

課長 財政的に更なる援助が必要と考える。

山寺はる美議員



学校授業の再開で子ども達の様子は

教育長

心のケアを必要とする子どもが何人かいる

問 新型コロナによる2カ月半ぶりの授業再開での子ども達の様子は。

教育長 アンケートで辰中生徒の27%が「心配や悩みがある」と回答。心配の中身は勉強や進路、部活動など。西小で保護者に子どもの様子を聞き取った調査では「心配」が5%いた。子ども達の心の問題は簡単に整理できていかない。担任の面接ほか、カウンセラーにつなぎ、注意深く複数の目でみていく。

問 教育の遅れ、格差にどう対処していくか。

教育長 小学校では授業を5~10分短縮し、集中力が継続する間に基礎学習を実施。短縮した時間をドリルなどの仕上げに当て、学習効果を高める。中学校は行事の中止によって得た時間を学習に当て、12月までには学習の遅れは取り戻す予定。

問 第2波、第3波に備えたオンライン学習に向け機材や環境整備はいつまでに完了するか。

課長 3人一台のタブレット端末は導入済み。1人一台には更に880台の端末が必要となる。全国的な需要が集中しており、今のところいつとは言えない。



賑やかさが戻ってきた通学路

少子化問題対策は

問 出生数が増えない原因は何か、施策の何が足りないか。

町長 少子化は様々な要因が絡み合い、特効薬は見出せていない。

問 婚姻数を増やせば良い。町には立派な独身の若者は大勢いる。しかし、出会いの場がなくてパートナーと出会っていない。ど真ん中プロジェクトの中で婚活を考えられないか。

課長 プロジェクトに相談し考えていければと思う。

樋口博美議員



新型コロナ感染者への誹謗中傷対策は

町長

町民に寄り添って、誹謗中傷が無いよう、声を届けていきたい。

新型コロナウイルス感染症に対する対応は

問 第2波への備えは。

課長 町独自の行動計画に基づく。行事・集会等の制限、外出の自粛もお願いしている。

問 国の専門家会議の提言を受けての対応は。

課長 地域の体制整備を急ぐ。当面対策本部はこのまま継続する。

要望 病院等への人材確保も含めて、踏み込んだ対応を要望する。

問 感染拡大防止に対する小中学校の対応は。

教育長 学校の休校はやむを得ない。学校ごとではなく、町全体の対応になる。

問 学童クラブの対応は。

教育長 感染者が出た学童クラブは閉鎖する。今後シミュレーションを行う。

問 保育園・幼稚園の対応は。

教育長 基本的に閉園には出来ないが、地域で出た場合は町で検討し対応する。

要望 子どもを守るための、踏み込んだ対応を要望する。



川島の子どもたち

問 若者世代への支援は。

課長 今回は緊急性を要する支援を優先した。

問 水道料金の減免ができないか。

課長 緊急性を重視して、今回は見送った。

問 誹謗中傷などの対応としてホームページの活用は。

課長 今後掲載していく。

問 町民に寄り添った声を届けては。

町長 これまでも合同メッセージを行ってきた。機会を通じて町長の声を届けたい。支援が見えにくいという声にも答えて、今後も支援を続けていく。

意見 何が悪で何が善か、その問いの中で思いやる心を見失わない。辰野町民が一つになってこの危機を乗り越えることを願っています。

災害時のみ出動する機能別消防団員の導入状況は



小澤 睦美 議員

町長
コロナ対策の影響で、取り組みが進んでいない

機能別消防団員の各分団での取り組みは

問 火災時に、搭載車を運転する消防団員が集まらず、消火が遅れるという事象があった。このようなことが起きないように災害時のみ現場に出動し活動する機能別消防団員制度が条例上整備されたが、その体制はどうなっているか。

課長 本年度当初より分団長会で、導入に向け細部にわたって内容を検討する予定だったが、コロナ対策の影響で進んでいない。今後の検討方向としては、各地区に適した導入を考えていきたい。

農業集落排水施設の町への移管・統合状況は

問 農業集落排水施設は、辰野北部・沢底・下横川・上横川・辰野北部西の5地区。令和2年度に水道メーター設置済の沢底地区・辰野北部地区を公共下水道へ統合し、その後、下横川地区の公共下水道への統合を計画するとのことだが、統合の時期はいつか。

課長 辰野北部地区・沢底地区の2地区は、令和3年度末までに公共下水道に統合し、効率的な維持管理経営を行う予定。他の3地区は、将来統合を検討する。

問 受益者負担金は公共下水道と同じように平米単価により徴収し、使用料は下水道使用料と統一することだが、現段階で単価は決定しているか。



下横川排水処理施設の草刈り

課長 コロナ対策などで協議が出来ていない。従って単価等は、決まっていない。

新型コロナ対策事業の利用状況は

問 飲食店デリバリー応援事業、宅配テイクアウト事業の利用状況は。

課長 飲食店デリバリー応援事業は、5月31日の時点で利用は6件。宅配テイクアウト事業は、第1期の時点で応募件数447件となっている。

感染症対策を講じた避難所開設は、すぐ出来るか



松澤 千代子 議員

町長
対策用必需品の準備を進めている段階だ

問 感染症対策として、パーティションや段ボールベッド、繊細な必需品などの準備はできているか。女性の相談者を加えていくつもりはあるか。

課長 辰野町の現状ではどの避難所も、2メートルの間隔は取れないため、パーティションで仕切るのが良い方法だと思う。簡単に組み立てられるものを設計し、すでに町内の業者に発注済である。また、段ボールベッドも試作品が出来上がっており、一定数の導入準備が進んでいる。消毒用のアルコールは品薄の上、備蓄がないので今後追加をしていきたい。しかし消防法上の危険物に当たるため貯蔵や取扱いの制限を踏まえながら、必要数の備蓄を考えている。また、災害対応については女性目線が重要と認識しているので、女性職員の意見を聞き女性の視点を取り入れていく。



段ボールのパーティション

問 17区への周知、連携はできているか。

課長 年度当初の区長会でやるべきことだが、新型コロナウイルスの影響のために、5月6月の区長会が中止になり、現在は周知ができていない状況だ。7月の区長会で説明し、連携できるようにと考えているが、梅雨の時季ということもあり、準備が整い次第、できることからやっていきたい。

問 緊急事態宣言下での、外国籍の人々への対応はどうだったのか。相談に応じる専門部署の設置を考えているか。

課長 定額給付金の申請には、ほとんどの人が案内できる人を伴ってきていたため、滞ることはなかった。専門部署を設置している市町村はあるが、当町では専門部署は置かずに、今後はボランティア団体の「地球人ネットワーク in たつの」とより深い連携をとっていく中で、外国籍の人々に対して情報が入らないことのないよう検討していく。



瀬戸 純 議員

教員増やし、
20人以下学級で
心のケアと学びの充実を

町長
現在、加配の教員を
探している

問 新型コロナウイルス感染症対策で、少人数の授業ができるよう加配を進めているが、国の責任で教員を増やすよう求めていく考えは。

教育長 根本は国の問題。5月末に県教育委員会担当者と懇談した折、教員免許制度更新等の課題があると考え、以前の様な免許制度に戻すよう国に要望してほしいと伝えた。

教員の業務支援スクールサポートスタッフの増員を

問 先生は、学校での新型コロナウイルス感染症対策で仕事量が増え、今まで以上に子どもに寄り添いたいのにも時間がない。授業や家庭への連絡の準備等を支援するスクールサポートスタッフの増員の考えは。

教育長 今年は、県職員が辰野中、西小へ1人ずつ配置されているが、学校から要望があれば考えたい。

高校受験を控えた中学生への放課後学習支援を

教育長 水曜日の放課後などは可能性があるのですが、中学校とも相談する。

就学援助制度の活用推進を

問 コロナ禍で、解雇や収入減の家庭がある。認定基準の拡充を。

課長 新型コロナウイルス感染症の影響により、家計が急変した世帯に対し、前年所得が認定基準を満たさない場合でも、今年の入収入状況により審査を行う。まずは相談を。

**保護者が新型コロナウイルスに感染した場合の
子どもの居場所・住まいの確保の検討を**

副町長 今月の上伊那広域副市町村長会で提起したい。



元気な声が響く体育の授業

その他の質問

- ・ 国民健康保険税、介護保険料の減免・免除は。



吉澤 光雄 議員

自粛と一体の補償、
検査・医療体制
充実への取組みを

町長
今後も、必要な所に
重点的に行う

問 新型コロナ対策で、町は上伊那の感染予防にどう関わっているのか。

課長 感染症は主に県が対応するが、市町村、県、保健所、医療機関が同席する場で声を上げていく。

問 個人支援金の給付状況と町税の納税猶予は。

課長 1人10万円の給付金は93%給付済。納税猶予相談は13件あり、3件認定した。

問 町の事業者支援給付金制度の対象拡大を。①減収率は30%から20%以上に引下げを、②対象期間は5月までを12月まで延長を、③一定の農家も対象に、④町外にお店を出している人も対象に。

課長 商業者の売上は5月までに9割が30%以上減少しており、概ねカバーしていると考えます。

問 福祉施設支援金の増額、お店の感染予防設備設置への補助制度創設を。

課長 国の2次補正や状況を見て優先順位決める。

河川の浚渫工事要望の決め方は

課長 区の要望を取りまとめて県へ上げ、県と現地調査を行う。

合葬墓の基本構想は

問 町霊園使用者や町民への意向調査と説明は。今年のアンケート結果は。

課長 町霊園のロータリーに、個別2百体、共同約4百体分を無宗教の形式で設置。夏頃意向調査し、広報で知らせ、来年度中の使用を目指す。今年のアンケートでは、合葬墓、周辺樹木の枝打ち、手すりの要望などが出された。今後の参考にします。

提案 町霊園區画の4割が未使用では。実態を調べて使用者の意向を聞き、使用料返還規定を作り、合葬墓建設に合わせて整理をすすめてはどうか。



辰野町霊園・合葬墓予定地を望む

新型コロナによる 経済的影響は

町長

飲食店・宿泊施設では
約8割が50%以上減収



舟橋 秀仁
議員

問 個人事業主・企業向け支援事業の申請状況は。

課長 町の支援金事業「ガンバル小規模事業者
応援金（最大30万円）」には50件以上の相談
があり、受理は4件120万円。中小企業等資金
繰り緊急支援には6月5日現在65件の申請、約
7億6000万円を融資。

問 支援事業の財源は足りるのか。

課長 「ガンバル小規模事業者応援金」への申請件
数を町内事業者600社の3割、約180社を想定
しているが、それを越えた場合には別の財源を見つ
け出す必要がある。一方で財政調整基金を取り崩す
が、財源組替などで担保していきたい。

要望 プレミアム商品券の全戸無料配布を検討し
てほしい。

辰野中学校通学のスクールバスの状況は

問 スクールバスの運行状況と導入の条件は。

課長 川島地区からの1路線のみ。料金は無料。
遠距離通学で小学校へは4km、中学校は6km 離
れていることが条件。

問 生徒の安全も考え、羽北地区への導入は。

教育長 学校の統廃合等特別な事情がないと、ス
クールバス導入や運賃の補助は難しい。但し、交通
事情の変化もあるので、生徒の安全確保については
検討していかなければならない。



川島からのスクールバス

町の農業ビジョンは

課長 4月に新たに「たつの営農」から改名した「辰
野町農業振興センター」を中心に、辰野町の農業の
課題や施策を明確にして、第六次総合計画につなげ
ていく予定。



第4次 議会活性化委員会

令和元年6月に二元代表制の一翼を担う議会と
して、議会の果たす役割を改めて見直し、毎月
委員会を開催し、取り組んできました。この一
年間の活動を報告します。

実施した活動及び調査

※議会報告会（町民と議員のタウンミーティング）

- ・令和元年11月15日 小野地区で実施
- ・令和元年11月16日 新町地区で実施

※辰高生と議員の懇談会

- ・令和元年12月18日 辰高で実施

※議会ペーパーレス化の調査

- ・令和2年2月14日 伊那市議会視察、継続調査

※政策サポーター制度

- ・今回は採用見送り

※議員・議会活動の効果的広報の検討

- ・議会広報編集委員会を通年の活動とし、議会
活動の広報をより積極的に展開することとした

※休日議会、夜間議会の開催

- ・継続調査

※予算・決算の合同審査特別委員会の設置

- ・現状のとおりとする

今後の検討項目

- ※中学生議会の開催
- ※女性タウンミーティングの開催
- ※女性議会の開催
- ※議員定数・議員報酬の検討
- ※その他必要な事項

中学生議会 開催のお知らせ

辰野中学から8名、両小野中学
から3名の3年生が登壇いたしま
す。若い、豊かな感性で、町に
関して疑問に思っていること、希
望や提案など行います。
ほたるチャンネルでも後日放映い
たしますので、ぜひご視聴下さい。



日 程 令和2年8月26日(水) 15:00～
辰野町議会議場(役場3階)

※当日、一般の方の傍聴はご遠慮願います。

今回は新型コロナウイルス感染症の影響について 町民の皆さんからお話を伺いました



有賀小百合さん(平出)



長期の休校となり、子どもは時間の使い方に戸惑い、親は弁当作りやら昼休みに帰宅するなど、親子共々生活のリズムが狂ってしまった。早く元のリズムを取り戻したい。

小澤 裕太さん(JA職員・川島)



農作物の作付時季で、仕事に支障はなかったが、県外の取引業者は自粛しているようだった。また、消防団の活動も再開されて、まあまあ状況になったと思っている。

國母 裕一さん(下辰野)



一日も早く以前の生活が取り戻せるよう、議員一同力を合わせ尽力していきます。



飲食店は去年の消費税増税からずっと苦しく、それに加えコロナだ。持続性や方法を模索しているの、町民の皆さんにも、ぜひ、明るいイメージを持って欲しいと思う。

竹内久美子さん(今村)



介護施設に勤務する家族がいるため、かなり神経質に感染対策をしていた。外出自粛のため友人との交流もなく寂しかった。夫にとっての畑仕事は開放感を伴う運動になったと思う。

春日 美鈴さん(上辰野)



マスクが手に入らず、探し回る日々、日頃からの備蓄の大切さを痛感した。また長期休校中の孫の世話を娘宅に通ったが、担任の先生の何回かの家庭訪問には感謝だった。

町民と議員の タウンミーティング

日程 8月21日(金) 18:30~20:00

樋口コミュニティセンター
宮所コミュニティセンター

多くの方のご来場
お待ちしております!

内容 議会活動報告、意見交換
分科会：「防災減災について」「地域で住み続けるには」

編集後記

コロナと共存の中で!

未だに新型コロナウイルス感染症の収束が見えず、早い予防ワクチンや処方薬の開発を心待ちにしたい。それまでは、目に見えないウイルスと共存するしかない。

私たちの慎重で冷静な行動が求められています。巣籠りになりがちですがコミュニケーションも大切です。議会だよりを通じて町民の皆様へ情報発信して参ります。

議会広報編集委員 池田睦雄

皆様からのご意見・ご要望お待ちしております。お気軽に議会事務局までお寄せください。